



平塚市民病院

令和元年度職員行動計画書

実績

★ビジョン★

「持続的な健全経営の下、高度医療、急性期医療及び政策的医療を担い、患者さんの生命（いのち）を守る診療を行う」

★令和元年度のキー・フレーズ★

「早め早めのアプローチ」

「一人ひとりが広報マン」

「病院コンシェルジュ、全員コンシェルジュ」

「コストの見える化」

令和元年度職員行動計画書実績

・内科(腎臓内分泌代謝内科)・1	・放射線診断科・・・45
・呼吸器内科・・・3	・放射線治療科・・・47
・消化器内科・・・5	・救命救急センター
・循環器内科・・・7	(救急科・救急外科)・・・49
・神経内科・・・9	・麻酔科・・・52
・緩和ケア内科・・・11	・保健指導室・・・54
・精神科・・・13	・看護科・・・56
・小児科・・・15	・ICU・CCU・・・58
・外科・・・17	・薬剤科・・・60
・消化器外科・・・19	・放射線技術科・・・62
・血管外科・・・21	・臨床工学科・・・64
・心臓血管外科・・・23	・臨床検査科・・・66
・脳神経外科・・・25	・栄養科・・・68
・乳腺外科・・・27	・医療安全管理室・・・70
・整形外科・・・29	・病診連携室・・・72
・形成外科・・・31	・退院支援・医療相談室・74
・皮膚科・・・33	・経営企画課・・・76
・泌尿器科・・・35	・病院総務課・・・79
・産婦人科・・・37	・医事課・・・81
・眼科・・・39	・災害医療企画室・・・83
・耳鼻咽喉科・・・41	・感染対策室・・・85
・リハビリテーション科・	
リハビリテーション技術科・43	

【各部署の「評価」欄の評価基準】

- S・・・目標に対して200%以上の達成
- A・・・目標に対して100%以上200%未満の達成
- B・・・目標に対して90%以上100%未満の達成
- C・・・目標に対して90%未満の達成

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医と密接に連携をとることで、病診連携を推進します。
- ②持続血糖測定器(CGM)を用いた糖尿病治療を行います。
- ③腹膜透析を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
講演会などで開業医に新しい機器、治療法を紹介する。	医師	紹介率	55%	67.02%	A	52.74%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	110%	129.98%	A	106.85%	紹介率・逆紹介率
開業医にCGMの導入、腹膜透析の治療を行っていることを知らせる。	医師	紹介率	55%	67.02%	A	52.74%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

新しい機器を用いた治療、新しい薬による治療について、患者さんに分かりやすく説明します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
糖尿病療養外来を充実させる	医師、看護師、管理栄養士	患者数	12人	159人	S	15人	(なし)
糖尿病性腎症重症化予防プログラムを充実させる	医師、看護師、管理栄養士	患者数	6人	1人	C	0人	(なし)
腹膜透析を充実させる	医師、看護師、管理栄養士	患者数	2人	2人	A	1人	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	腎臓内分泌代謝内科	総括責任者	部長	今福 俊夫
病棟名	4D病棟	副責任者	看護師長	日下 順子

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や新しい治療法による入院患者数の確保	医師	年間新入院患者数	前年度比3%増	1,311人	C	1,437人	1日当たり平均入院患者数
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比2%減	43時間43分	B	41時間26分	職員給与費対医業収益比率
新しい治療法の推進による収入確保	医師	入院診療単価	前年度比3%増	47,014円	B	46,738円	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

新専門医制度による専門研修基幹施設と連携強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設と情報交換会への参加	医師	参加回数	年3回	2回	C	3回	(なし)
院内研修会への参加	医師	参加回数	1人年6回	1人4.6回	C	1人3.7回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表の学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	1編	A	2編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	発表数	10回	18回	A	25回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	呼吸器内科 アレルギー内科	総括責任者	部長	浅井 芳人 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①放射線治療科、呼吸器外科との連携により肺癌治療の迅速化に努めます。
②本邦最多症例を管理する好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の管理を含めた成人のアレルギー疾患の診療を充実させ、アレルギー診療としての当院のブランド化の確立を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
肺癌カンファレンスの開催	医師	治療開始までに要した日数	呼吸器外科65日 放射線治療科35日	呼吸器外科0日 放射線治療科47.7日	C	呼吸器外科71.3日 放射線治療科37.1日	(なし)
呼吸器外科との連携強化	医師	肺癌患者紹介数	20件	0件	C	22件	手術件数
アレルギー診療に関する専門外来・セカンドオピニオンの充実	医師	アレルギー疾患紹介患者数	50件	70件	A	—	(なし)
アレルギー疾患に関する臨床研究・症例報告を介して国内・海外への情報発信	医師	学会・論文発表数	併せて5回	14件	S	17件	(なし)
アレルギー疾患の地域医療連携システムの構築	医師	勉強会の開催・逆紹介数など	30件	108件	S	25件	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①外来患者さんに快適な受診環境を提供します。
②アレルギー疾患の診断・治療の充実、最先端の治療を組み入れた管理を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間の短縮	医師ほか	診察時刻-受付時刻	20分	17分	A	24分	(なし)
呼気NOやモストグラフを入れた肺機能検査の実施。初診日に実施し早期診断を目指す。	医師ほか	初診日から1か月以内の臨床症状の改善度の評価	50%	30%	C	30%	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	呼吸器内科 アレルギー内科	総括責任者	部長	浅井 芳人 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者を現在以上に大切に思いやりリピーターを増やします。
②EGPAに対するIVIGの入院パス化の実践により安定した一定の収益が期待でき、EGPAのIVCY短期入院により、入院期間短縮とEGPAに対するDPC係数から収益に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の確保・維持	医師ほか	年間入院患者数	330件	470件	S	443件	1日当たり平均入院患者数
EGPAに対するIVIG	医師ほか	年間入院患者数	30例	48例	A	25例	医業収支比率
EGPAに対するIVCY短期入院	医師ほか	年間入院患者数	30例	36例	A	24例	医業収支比率
アレルギー疾患全般における外来診療の充実—生物製剤の導入など—	医師ほか	年間外来患者数	延べ300例	320例	A	250例	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①職員（研修医）の能力向上に努めます。
②研修医・国内留学（大学院生）の臨床・研究を充実します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加など	医師	参加回数(呼吸器内科)	1回	1回	A	0回	(なし)
学会発表・論文発表など	医師	発表回数・論文数(アレルギー内科)	併せて5回	18回	S	1回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表などを介した情報発信、教育、学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表・論文発表	医師	発表数(呼吸器内科)	1回	2回	S	0回	学会及び論文研究発表件数
学会発表・論文発表	医師	発表数(アレルギー内科)	併せて5回	18回	S	17回	学会及び論文研究発表件数
医師会・薬剤師など地域医療での勉強会、講演会を介した医療連携	医師	勉強会、講演会数	3回	6回	S	2回	講座及び講演数
EGPAの管理に関する講演(地方巡業)	医師	講演会数	15回	8回	C	6回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長 厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長 斯波 忠彦

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い医療を実施し、地域医療に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	80%	83.86%	A	80.92%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	140%	138.20%	B	134.12%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心、快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による業務の効率化	医師・看護師・事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比10分短縮	27分	C	21分	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長 厚川 和裕
—	—	副責任者	主任医長 斯波 忠彦

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保し、入院稼働額を増加させます。
②職員のコスト意識を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
平均在院日数の短縮化	医師・看護師・退院支援室	平均在院日数	12日	13.6日	C	13.5日	平均在院日数
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間受入数	前年度比10%増	24,481人	A	21,084人	1日当たり平均入院患者数
開業医との連携を深めるための訪問	医師	年間訪問数	10回	0回	C	0回	(なし)
下部消化管検査、処置の実施	医師	実施件数	5%増加	2,339件	B	2,366件	医業収支比率
ERCPの検査、処置の実施	医師	実施件数	5%増加	419件	A	346件	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識・技術を向上させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
内視鏡介助を行うスタッフのスキルアップ	医師・看護師	勉強会開催数	月1回	年2回	C	月0.2回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動及び学生の教育を充実させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年8回	18回	S	14回	学会及び論文研究発表件数
学生のポリクラ・クラークシップを積極的に受け入れる	医師	学生数	年6名	6人	A	12名	学生実習受入人数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長 高木 俊介
病棟名	3B病棟	副責任者	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療効率の人的・時間的・空間的・経済的向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会講演会などへの積極的参加、開業医との懇談	医師	紹介率	80.0%	86.71%	A	73.50%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	250%	285.59%	A	273.05%	紹介率・逆紹介率
急性心筋梗塞に対するクリニカルパスの導入	医師・看護師・DC・検査技師・事務	パスの作成	1種類増加	0種類	C	0種類	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

市民病院に対する市民の評価向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師・看護師・DC・検査技師・事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	35分	25分	A	26分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を目指します。
- ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間紹介患者受入数	年間紹介入院患者循環器内科 200人	119人	C	174人	1日当たり平均入院患者数
救急搬送患者受入による重症患者確保	医師	年間救急搬送患者受入数	年間救急搬送患者循環器内科 240人	263人	A	263人	入院診療単価
PCI件数	医師	年間PCI件数	200例	121例	C	148例	医業収支比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長 高木 俊介
病棟名	3B病棟	副責任者	—

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ② 新専門医制度による専門研修基幹病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修の参加	医師	参加数	1人当たり6回	1人当たり5.1回	C	1人当たり3.4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門医取得	医師	専門医数、研修施設獲得	1人	1人	A	0人	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・学会発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年1回	2回	S	1回	学会及び論文研究発表件数
市民に対する疾患の啓発活動	医師・看護師	実施回数	年1回	2回	S	1回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	田川 朝子
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医との連携により、役割の明確化に努めます。
②効率的な業務の遂行に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得	医師	紹介率	65%	73.98%	A	68.97%	紹介率・逆紹介率
脳血管障害に対するクリニカルパス使用	医師、看護師、事務職	使用回数	5人	0人	C	2人	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに分かりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
説明同意書の作成	医師	1件以上	1件以上	2件	S	0件	(なし)
市民向け講座の開催	医師	1回以上	1回以上	2回	S	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新たな入院患者の確保により、医業収益の向上を図ります。
②職員のコスト意識向上に資する取組により、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	前年度比10%増	148人	B	168人	医業収支比率
時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	23時間15分	B	23時間30分	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長	田川 朝子
—	—	副責任者		—

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内3部門以上を対象とした院内研修会への参加	医師	参加回数	6回以上/1人	2回/1人	C	2回/1人	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
学会、院外研修会への参加	医師	参加回数	5回以上	10回	S	約5回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	回数	5回	8回	A	6回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	件数	1編	1編	A	0編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケアを必要とする患者さんを積極的に拾い上げ、多職種からなるチームが質の高い緩和ケアを実現します。
 ②患者さんが気軽に相談できる窓口(がん相談支援センター)を設置します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
「苦痛のスクリーニング」の実施	医師、看護師、薬剤師など	実施件数	年900件	967件	A	822件	(なし)
がん相談支援センター	がん専門相談員	相談件数	年120件	136件	A	179件	(なし)
多職種での合同カンファレンス(緩和ケア委員会において)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師ほか	実施回数	年12回	12回	A	12回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①一人一人の患者さんの苦痛や悩み(身体的、精神的、社会的苦痛など)が和らげられています。
 ②患者さん同士が気軽に語り合える場(がん患者会)や緩和ケアの啓発イベントなどを提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアチームでの回診・カンファレンス	医師、看護師、薬剤師	実施回数	毎週3回	毎週3回	A	毎週3回	(なし)
がん患者の会「なでしこの会」の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年6回	3回	C	4回	情報発信件数
緩和ケア週間(相談・啓発イベント)の開催	医師、看護師、管理栄養士、リハビリ技師など	開催回数	年1回	1回	A	1回	情報発信件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理	大津 聡美

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①がん診療に携わるすべての医師が「緩和ケアに関わる研修会」を受講し、がん性疼痛緩和指導管理料を算定します。
②緩和ケアの診療依頼件数の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
がん性疼痛緩和指導管理料(200点)(緩和ケアにかかわる研修会の受講が条件)	医師	算定患者数	年180件	174件	B	201件	医業収支比率
緩和ケア診療加算(390点)	医師、看護師、薬剤師	算定患者数	年120件	313件	S	143件	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院職員全体が意欲的に緩和ケアへ取り組めるよう、職員の教育と啓発活動に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアにかかわる研修会(全職種対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	1回	A	1回	(なし)
緩和ケア勉強会(全職員対象)	医師、看護師、薬剤師	開催数	年1回	1回実施	A	1回	(なし)
病棟への押しかけ勉強会	看護師、薬剤師	開催数	年6回	4回(コロナの影響で2回は中止)	C	5回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

緩和ケアチームとして研究発表など学術活動や院外の研修会の講師・講演にも積極的に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師、看護師、薬剤師	発表数	年1回	0回	C	1回	学会及び論文研究発表件数
院外研修会の講師・講演	医師、看護師、薬剤師	講演回数	年1回	0回	C	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長 森長 修一
—	—	副責任者	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①効率的な業務遂行のために、各科・各病棟でせん妄の初期対応が行えるように努めます。
②院内他科との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
せん妄対応マニュアルの作成	医師、看護師	マニュアルの作成状況	マニュアルの完成	完成	A	なし	(なし)
院内からの診療依頼件数の増加	医師	院内からの診療依頼件数	前年度比5%増	729件	A	526件	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な受診環境を提供できるように努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
逆紹介の推進など外来枠の適正化による待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	前年度比10%短縮	15分	C	15分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

精神疾患を併存する入院患者の早期退院・転院を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
精神科病院への訪問による関係構築	医師、看護師、PSW、CN	年間訪問回数	年5回	0回	C	4回	平均在院日数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長 森長 修一
—	—	副責任者	—

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の医療知識及び技術習得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師、看護師、 PSW、CN	参加回数	1人当たり年6回	1人3.25回	C	1人2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
学会、院外研修会への参加	医師、看護師、 PSW、CN	参加回数	1人当たり年3回	1人当たり4回	A	1人3回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会研究発表	医師、看護師、 PSW、CN	発表数	年2回	1回	C	2回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	小児科	総括責任者	科医長 福島 直哉
病棟名	5D小児科病棟、NICU、GCU	副責任者	看護師長 前田 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①質の高い高度医療を提供するため、紹介患者を中心とした診療を展開します。
- ②小児救急・周産期救急維持のため必要な小児科医を確保します。
- ③参加と連携し、地域の産婦人科開業医からの新生児・母体搬送を積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医との連携	医師	紹介率	90.0%	108.21%	A	91.57%	紹介率・逆紹介率
開業医への逆紹介の推進による外来業務の効率化	医師	逆紹介率	40%	27.66%	C	33.41%	紹介率・逆紹介率
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①24時間、365日小児・申請の受入れに努力します。
- ②小児病棟・NICU・GCUにぬくもり空間を作ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	8人	C	8人	(なし)
クリスマス会などの各種イベントの開催 ボランティアさんによる本の読み聞かせ	医師・看護師・保育士	イベント・読み聞かせ開催数	イベント年3回以上読み聞かせ週1回	1回	C	3回	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	小児科	総括責任者	科医長 福島 直哉
病棟名	5D小児科病棟、NICU、GCU	副責任者	看護師長 前田 まゆみ

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①空床を減らし病床を有効に活用します。
- ②総合入院体制加算維持のため逆紹介を推進し、外来縮小体制をとります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
予定入院増加による空床の有効活用	医師	予定入院数	前年度比5%アップ	162人	A	130人	病床利用率
地域開業医との連携・逆紹介推進による外来縮小体制	医師	通院不要的退院率	55%	47.7%	C	52.5%	1日当たり平均外来患者数

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①各個人の能力向上のため院内研修会に積極的に参加します。
- ②小児科医としての能力向上のため小児科の専門学会・研修会などに積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修会への参加	医師	参加回数	1人6回	1人2.6回	C	1人2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
小児科専門学会・研修会への参加	医師	参加回数	1人5回	1人5回	A	1人5回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会・研究会に参加し、積極的に発表を行います。
- ②市民向け講演会・地域医師会主催講演会に参加し講演を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
研究発表	医師	発表数	年5回以上	9回	A	6回	学会及び論文研究発表件数
市民向け講演会	医師	講演数	年20回	13回	C	16回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術(高度な医療)が必要な患者に24時間365日、一件でも多くの外科手術を提供します。
- ②双方で顔の思い浮かぶ病診連携により外来診療を縮小します。
- ③多職種連携チームの活動を通じてSSIの減少に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
技術習得等による手術実行数の増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,150件/年	1,177件	A	1,189件/年	手術件数
信頼関係の強い病診連携先数を得るための開業医訪問回数増	医師、事務職	訪問回数	2回/月以上	14回	C	23回	紹介率・逆紹介率
SSI(術後創感染)発生率の減	医師、事務職	消化器外科でのSSI発生率	6.0%未満	4.9%	A	5.8%	(なし)
診療情報提供の積極的な実施	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科全体での退院時診療情報提供書の率	30%	43.4%	A	36.8%	通院不要的退院率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

分かりやすい説明により、患者さんが安心して受診できる体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師、薬剤師	外科ホームページの更新回数	2回/年	5回	S	8回	情報発信件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	外科	総括責任者	部長	中川 基人
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

収入確保と支出削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
手術を数多く行うことによる診療稼働額増及び診療単価増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,150件/年	1,177件	A	1,189件	医業収支比率
サージレーンの解析結果を業者、事務職と協力して分析し、手術に関する支出を減少させる可能性を探る	医師・事務職・業者	実施	実施	実施	A	—	診療材料費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新専門医制度における外科専門研修基幹施設としての要件を維持し続けます。
- ②基本領域に加えて2階、3階部分の専門医資格申請要件に足る診療及び学術活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
基幹施設要件を満たす手術件数の確保	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,150件/年	1,177件	A	1,189件	(なし)
基幹施設要件を満たす有資格医師数の確保	医師	資格保持者数	現状維持	要件を満たす点で現状維持	A	現状維持	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学術活動の充実を図ります。
- ②学生の育成に貢献します。
- ③頻度の高い外科疾患について、市民の理解を深めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文発表	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の発表論文数	3編/年	10編	S	27編	学会及び論文研究発表件数
医学生に外科学を学ぶのに必要な臨床実習の場を積極的に提供する。	医師	受入率	100%	100%	A	100%	学生実習受入人数
胃・大腸・胆石・肝臓・鼠径ヘルニア・肛門・乳腺・varix・ASOの出張講座を行う。	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の開催数	6回/年	0回	C	2回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長	高野 公德
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より多くの症例に対応し、医療の質の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
一般消化器外科手術症例数の増加	医師	手術症例数	800件	850件	A	819件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より詳細な情報発信により、安心して受診していただける環境を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページの充実	医師	内容の充実	より詳細な記載	より詳細な記載	A	詳細な記載	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

多くの症例の手術に対応することで、患者を確保するとともに、収入増を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
手術症例の増加による入院診療単価の増	医師	入院診療単価	前年度比5%増	89,618円	A	82,153円	入院診療単価

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長 高野 公德
—	—	副責任者	—

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識の習得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師	参加回数	1人当たり4回	1人当たり6.2回	A	1人当たり10.4回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文など学術活動に取り組めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	1人4回	1人2.3回	C	1人5.6回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	論文数	英文2、和文5	英文0、和文1	C	英文3、和文5	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長	林 啓太
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①効率的な業務遂行のため、業務内容の定型化を目指します。
- ②チーム医療を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
クリニカルパスの導入	医師	クリニカルパス作成数	3件	0件	C	0件	(なし)
他科との連携	医師	手術症例数	60%	60.49%	A	60.40%	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに分かりやすい情報発信をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
手術説明書の見直し、作成	医師	見直した資料の種類 新規作成資料数	見直し: 9種類 新規: 1種類	見直し: 4種類 新規: 0種類	C	新規: 9種類	(なし)
市民向け講座の開催	医師	市民向け院内講座の開催回数	1回	0回	C	0回	情報発信件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長	林 啓太
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術件数確保による増収を目指します。
②診療科稼働額増加、査定率減少による増収を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数の確保	医師	手術件数	200件	205件	A	241件	医業収支比率
診療科稼働額の増加	医師	診療科稼働額	前年度比10%増	185,947,554円	C	214,464,664円	医業収支比率
詳細な症状詳記記載による査定率の減少	医師	査定率	1次査定 1%以下 2次査定 0.10%以下	1次査定 0.40% 2次査定 0.09%	A	1次査定 1.96% 2次査定 0.18%	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

勉強会の参加、開催により、職員の能力向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会、研究会の参加	医師	参加回数	3回	5回	A	5回	(なし)
他職種向けの勉強会の開催	医師	開催回数	2回	0回	C	1回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学会発表、論文発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表、講演会発表	医師	発表数	2回	2回	A	1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長	井上 仁人
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長	池谷 綾

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のために既存の病診連携の継続と新規開拓を行います。
②地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための病病連携の継続	医師	紹介患者数	70人	66人	B	76人	手術件数
地域に信頼される最高水準の心臓血管外科治療	医師	死亡率	3%以下	1.57%	A	1.64%	重症度、医療・看護必要度(一般病棟)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの負担を軽減する治療を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト、オフポンプバイパスなどの患者にやさしい治療の実施	医師	ステントグラフト件数 AVneo件数	前年度比5%増 前年度比5%増	ステントグラフト 25、Avneo32件	A	ステントグラフト 13件、AVneo27 件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

ステントグラフトなどの診療科を超えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフトなどの診療科を超えた集学的治療・オフポンプバイパスなどの手術コストを含めた手術選択	医師	入院診療単価	前年度比5%上げる	132,245円	B	127,308円	入院診療単価

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長	井上 仁人
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長	池谷 綾

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上のための機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
研修医のための心臓手術シミュレーション	医師	研修医全員の受講	研修医全員	ローテートした全員	A	研修医全員	(なし)
心臓血管外科のウェットラボによる手術シミュレーション	医師	受講人数	50人	50人	A	50人	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

アカデミックサーजनとしての意識改革と業績の構築を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	5編	2編	C	1編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師	研究発表数	10回	16回	A	14回	学会及び論文研究発表件数
ステントグラフト実施医・指導医の育成	医師	実施医・指導医	2人	2人	A	0人	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療支援のため、紹介及び逆紹介を積極的に行います。
②重症患者の診療を中心に行うため、手術室の有効利用を図り、手術件数の増加に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介の推進	医師	紹介率	68%	49.48%	C	47.81%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	124%	103.78%	C	72.24%	紹介率・逆紹介率
紹介、救急症例の増加による手術件数の増加	医師、看護師	手術件数	200件	211件	A	183件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

重症患者を受け入れ、いつでも緊急手術に対応可能な体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
緊急手術件数の増加	医師、看護師	緊急手術件数	150件	146件	B	131件	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで入院稼働額の増を目指します。
②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
重症患者確保による入院診療単価の増	医師	年間入院診療単価	82,000円	86,123円	A	79,505円	入院診療単価
1日当たり平均入院患者数	医師	1日当たり平均入院患者数	16人	16.0人	A	15.3人	1日当たり平均入院患者数
平均在院日数の短縮	医師、看護師、MSW	平均在院日数	14日	16.0日	C	16.4日	平均在院日数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数	前年度比10%減	71時間33分	C	70時間18分	職員給与費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門研修基幹施設との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
専門研修基幹施設との研修会への参加	医師	参加数	年3回/科	年3回/科	A	3回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	3編/科	2編	C	2編	学会及び論文研究発表件数
研究発表	医師	発表数	10回/科	12回	A	13回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長	米山 公康
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

対外的活動を増進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
整形外科開業医への骨密度測定依頼	医師	依頼件数	年30例	12例	C	16例	紹介率・逆紹介率
手術患者の歯科受診の徹底	医師・看護師	手術患者の歯科受診率	100%	ほぼ100%	A	100%	紹介率・逆紹介率
市主体乳癌検診の実施	医師	実施件数	前年度を上回る	564件	A	412件	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

媒体の積極的活用により、患者さんに安心して受診していただける体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師	改訂回数	2回	3回	A	6回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療資源を効率的に活用します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
化学療法の積極的実施	医師	化学療法施行数	前年度を上回る 件数	706件	B	774件	外来診療単価
MRI検査の積極的実施	医師	MRI施行数	前年度を上回る 件数	131件	C	163件	外来診療単価
骨シンチ検査の積極的実施	医師	骨シンチ施行数	前年度を上回る 件数	128件	B	131件	外来診療単価

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長 米山 公康
—	—	副責任者	—

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内カンファレンス及び院外カンファレンス・研究会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内術前画像カンファレンスの実施	医師・技師	開催回数	週1回	週1回	A	毎週1回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院内乳腺病理カンファレンスの実施	医師・技師	開催回数	月1回	月1回	A	12回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院外研究会参加	医師・技師・看護師	参加数	3回	6回	S	8回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動及び対外活動を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	3回	2回	C	3回	学会及び論文研究発表件数
論文発表	医師	論文数	2本	2本	A	1本	学会及び論文研究発表件数
公開市民講座の開催	医師	開催回数	年2回	1回	C	3回	講座及び講演数
パラメディカルへの講演実施	医師	開催回数	年2回	7回	S	10回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長	杉木 正
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域の医師との垣根のない連携を構築します。
②病院内の効率的な運用を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	開業医訪問数	10回	0回	C	11回	紹介率・逆紹介率
紹介患者獲得のための開業医回りの推進	医師	紹介患者数	420人	520人	A	486人	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	150.0%	159.09%	A	148.21%	紹介率・逆紹介率
手術室の適正な運用の推進	医師	手術件数	730件	959件	A	843件	手術件数
退院時の診療情報提供書作成の推進	医師	通院不要的退院率	40%	36.7%	B	30.8%	通院不要的退院率
大腿骨骨折地域連携バスの合同会議の出席	医師、病診連携室、 看護師、技師	出席回数	2回	3回	A	3回	(なし)
病診連携室経由で開業医への「整形外科だより」の送付	医師	送付回数	2回	0回	C	2回	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんにとっての快適な診療体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、外来看護師、 事務職	患者一人当たりの平均 待ち時間	前年度比5分短縮	23分	A	45分	(なし)
適切な患者接遇の推進	医師	苦情に関する投書件数	前年度比10%減	14回	A	25件	(なし)
市民健康講座(院内講座)の開催	医師	市民健康講座開催数	1回	1回	A	1回	情報発信件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長	杉木 正
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を図ります。
②職員の業務の効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
稼働額の増加	医師	稼働額(外来+入院)	現状維持	1,271,441,321円	A	1,223,837,555円	医業収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	前年度比2%増	962人	A	870人	1日当たり平均入院患者数
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比2%減	50時間27分	A	62時間25分	職員給与費対医業収益比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

医師自らの能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加の推進	医師	参加数	1人当たり2回以上	1人当たり1.9回	B	1人当たり1.6回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表、講演	医師	参加数、講演数	科全体で5回	1回	C	1回	学会及び論文研究発表件数
論文	医師	論文数	科全体で2編	0編	C	1編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	形成外科	総括責任者	科医長 加茂川 留理
病棟名	5AB病棟	副責任者	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

決められた時間内に多くの患者さんを診られる診療体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による効率化	医師、看護師、検査技師	患者1人あたりの平均診察待ち時間	前回調査比2分短縮	18分	A	39分	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが治療内容方針を理解して安心して診療を受けられる環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
手術説明関連資料作成	医師、看護師	作成数	3種類	4種類	A	5種類	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

入院患者の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の増加を図ります。	医師	延入院患者数	650人	485人	C	691人	1日当たり平均入院患者数
手術件数の増加を図ります。	医師	全身麻酔の手術件数	10%増	75件	B	75件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	形成外科	総括責任者	科医長 加茂川 留理
病棟名	5AB病棟	副責任者	—

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

知識と研鑽を積むために他病院見学を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他院への手術見学	医師	見学数	3回	2回	C	2回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文・発表など学会活動の充実をはかります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文数	医師	論文数	1編	1編	A	0編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	学会発表数	1回	0回	C	0回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長 栗原 佑一
病棟名	5AB病棟	副責任者	看護師長 西島 由美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

病院として求められる、質の高い、適切な医療提供を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
再診患者の逆紹介を推進する	医師	外来患者数の減少	60人/日	64.8人/日	B	61.8人/日	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

検査や病院で求められる治療に重点を置き、待ち時間短縮を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
外来の待ち時間の減少(逆紹介により)	医師	診察待ち時間	10%減	31分	B	34分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上と業務効率化によるコスト削減により単価の上昇を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	医師、看護師、事務	ミーティング実施回数	2ヶ月に1回	6回	A	6回	診療材料費対医業収益比率
入院治療のパス化を促進する	医師、看護師	新規入院パス作成	新規パス導入1個	2個	S	0個	診療材料費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長 栗原 佑一
病棟名	5AB病棟	副責任者	看護師長 西島 由美

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①知識の充実と技能向上のため、学会への参加や他病院見学を積極的に行います。
②院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加回数	年6回/人	2.75回/人	C	2回/人	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
学会、講演会への参加	医師、看護師	参加回数	年2回/人	年9回/人(発表10回、参加20回)	S	20回 (年6.6回/人)	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、学会発表などの学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	学会発表数	8回/年	10回	A	10回	学会及び論文研究発表件数
論文作成	医師	論文数	4編/年	5編	A	2編	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	科医長 澤田 康弘
病棟名	5AB病棟、4A病棟	副責任者	—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携強化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための連携(外来協力)	医師	外来協力回数	週一回	週2回	S	週3回	紹介率・逆紹介率
手術症例の相互紹介	医師	逆紹介患者数	235人	331人	A	233人	紹介率・逆紹介率
安全な手術の実施による手術件数の確保	医師	手術数	550件	464件	C	560件	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

市民公開講座の開催により患者、市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
市民公開講座	医師	実施回数	年2回	0回	C	3回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

必要患者に対する適切な入院治療を行うとともに、過剰医療の抑制を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
必要患者の入院を対応	医師	年間新入院患者数	645件	543人	C	653人	1日当たり平均入院患者数
近隣での対応可能症例に対しては近隣で	医師	逆紹介患者数	235人	331人	A	233人	1日当たり平均外来患者数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	科医長 澤田 康弘
病棟名	5AB病棟、4A病棟	副責任者	—

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院外研究会、学会等に参加し、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院外研究会 学会参加	医師	参加回数	一人あたり年2回	一人あたり年2回	A	一人あたり年2回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表や論文作成を積極的に行います。
- ②市民公開講座の開催により患者、市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
論文	医師	発表数	年3編	1編	C	1編	学会及び論文研究発表件数
学会発表	医師	発表数	年3回	2回	C	2回	学会及び論文研究発表件数
市民公開講座	医師	実施回数	年2回	0回	C	3回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	4A病棟、5D病棟	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市内診療所との連携を強化します。
- ②県内病診との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
平塚市産婦人科医会例会参加	医師	紹介率	70%	73.70%	A	68.36%	紹介率・逆紹介率
平塚市産婦人科医会運営	医師	紹介率	70%	73.70%	A	68.36%	紹介率・逆紹介率
神奈川県産科婦人科医会部会参加	医師	紹介率	70%	73.70%	A	68.36%	紹介率・逆紹介率
逆紹介推進	医師	通院不要的退院率	40%	24.8%	C	24.9%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①分娩における医療環境を整備します。
- ②緊急時の対応を整備します。
- ③市民への情報発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
母体搬送の積極的受け入れ	医師・助産師	患者数	25件	27件	A	22件	分娩件数
周産期救急の受け入れ	医師・助産師	患者数	320件	394件	A	332件	産科・小児科(周産期)の救急受診患者受入数
医療圏の婦人科救急	医師・助産師	救急車搬送患者数	30件	23件	C	31件	産科・小児科(周産期)の救急受診患者受入数
市民への情報発信	医師・助産師	院内講座回数	2回	0回	C	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①診療レベルを維持しながら入院期間を短縮し、入院患者数を増加します。
- ②診療コスト削減への職員意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
医療連携による入院患者数の増加	医師	入院患者数	5%増	8,811人	C	9,833人	1日当たり平均入院患者数
悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術増加による入院診療単価増加	医師	入院診療単価	75,000円	77,163円	A	70,930円	入院診療単価
診療材料コスト削減への職員意識	医師・看護師・助産師	手術のお産セットの単価	5%減	—	B	—	診療材料費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長 笠井 健児
病棟名	4A病棟、5D病棟	副責任者	—

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①日本産科婦人科学会専門医資格の取得を支援します。
- ②新専攻医制度での基幹施設との連携を強化します。
- ③院内研修会へ参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
日本産科婦人科学会専門医資格の取得	医師	資格取得	1人	1人	A	1人	有資格者数
新専攻医制度基幹施設研修プログラム委員会参加	医師	参加回数	3回	3回	A	3回	(なし)
院内研修会参加	医師	参加回数	1人当たり年6回	1人当たり2.7回	C	1人当たり年2.2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
がん治療認定医機構がん治療認定医資格取得	医師	資格取得	2人	1人	C	0人	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表、論文投稿などの学術活動の充実を図ります。
- ②後進の育成に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	科全体で3回	3回	A	1回	学会及び論文研究発表件数
論文執筆	医師	論文数	科全体で2編	0編	C	0編	学会及び論文研究発表件数
当科に関心のある学生の積極的受け入れ	医師	受け入れ人数	2人	1人	C	0人	学生実習受入人数
看護学部、看護学校での講義	医師	延べ講義数	16回	17回	A	15回	講座及び講演数
市民向け出張講座	医師	開催数	2回	0回	C	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加	医師	参加回数	年1～2回	1回	C	1回	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	140%	224.80%	A	149.16%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	開催数	毎月1回	14回	A	12回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診療、手術待ち時間の短縮に努め、患者満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化、外来の縮小化、他職員との連携強化	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	診察待ち時間	5%短縮	31分	B	31分	(なし)
手術日数の増加による手術待ち患者の解消	医師	手術待ち期間	2か月	3か月	C	4か月	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	眼科	総括責任者	部長	白石 亮
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
②コスト意識向上につとめます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による手術患者の確保	医師	手術件数	300件	246件	C	243件	医業収支比率
手術時のコスト意識の向上	医師、看護師	・アイリスリトラクターの購入単価 ・眼内レンズの購入単価	前年比5%削減	-	A	-	診療材料費対医業収益比率
手術日数の増加	医師	手術日数	週2日	週1日	C	週1日	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
②大学病院との連携強化を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	医師	参加数	年6回	6回	A	4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
大学病院との情報交換会への参加	医師	参加数	年2回	2回	A	2回	(なし)
科内勉強会	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手	開催数	月1回	15回	A	16回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

眼科医療に関心のある学生の育成に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
眼科医療に関心のある学生の積極的受入れ	医師、視能訓練士	受入人数	1人	0人	C	0人	学生実習受入人数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	科医長	都築 伸佳
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、医療の機能分化を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の確保	医師	紹介率	60.0%	65.85%	A	58.55% (H29年度実績)	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	50.0%	82.38%	A	47.74% (H29年度実績)	紹介率・逆紹介率
手術の積極的な実施	医師	手術件数(中央手術室)	85件	138件	A	127件 (H29年度実績)	手術件数

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの状態を詳細に把握します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
症状に関する詳細な問診票の作成	医師	作成数	5	5	A	—	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	耳鼻咽喉科	総括責任者	科医長	都築 伸佳
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

収入を確保することで、健全な病院経営に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
手術患者の確保による入院診療単価増	医師	入院診療単価	55,000円	62,261円	A	54,470円 (H29年度実績)	入院診療単価
逆紹介の推進による外来診療単価増	医師	外来診療単価	8,000円	8,343円	A	7,337円 (H29年度実績)	外来診療単価
紹介患者の確保による入院患者の確保	医師	入院延患者数	1,300人	1,062人	C	1,963人 (H29年度実績)	1日当たり平均入院患者数

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師	参加数	年6回	2.5回/人	C	—	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会での発表	医師	学会発表回数	年4回	8回	S	—	学会及び論文研究発表件数
論文の執筆	医師	論文発表回数	年2本	2本	A	—	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 杉木 正 科長 磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理 笠原 まゆみ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①カンファレンスの実施により他職種と情報を共有し、患者の早期退院を目指します。
- ②チーム医療に積極的に参加し、他職種と連携を図りながらリハビリテーションの視点で進言します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
整形外科カンファレンスへの参加	医師、看護師、MSW、リハ技師	開催数(参加数)	45回	50回	A	49回	(なし)
脳神経科カンファレンスへの参加	医師、看護師、MSW、リハ技師	開催数(参加数)	25回	25回	A	25回	(なし)
心臓リハビリテーションカンファレンスへの参加	医師、看護師、薬剤師、リハ技師	開催数(参加数)	30回	25回	C	34回	(なし)
救急病棟ケースカンファレンスへの参加	医師、看護師、薬剤師、MSW、リハ技師	開催数(参加数)	40回	45回	A	15回	(なし)
3B病棟退院支援カンファレンスへの参加	医師、看護師、薬剤師、MSW、リハ技師	開催数(参加数)	45回	45回	A	30回	(なし)
RST(呼吸サポートチーム)	医師、看護師、臨床工学技師、リハ技師	開催数(参加数)	回診40回 委員会12回 講義3回	回診45回 委員会12回 講義1回(コロナ)	C	回診40回 委員会12回 講義3回	(なし)
NST(栄養サポートチーム)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加数)	委員会4回 講義1回	委員会3回(コロナ) 講義1回	C	委員会3回 講義1回	(なし)
褥創委員会	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加数)	回診12回	回診12回	A	回診12回	(なし)
緩和医療委員会	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加数)	委員会12回 イベント1回 講義1回	委員会11回(コロナ) イベント1回 講義1回	B	委員会12回 イベント1回 講義1回	(なし)
糖尿病診療対策委員会	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加数)	委員会12回 イベント1回 講義1回	委員会12回 イベント1回 講義1回	A	委員会12回 イベント1回 講義1回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリテーションの計画的な指示・実施により待機患者数の削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
計画的指示・実施による待機患者数削減	医師 (リハ医体調不良あり)	待機患者数	10人以下	19人/1,463人 (1.299%)	C	19人/1,641人 (1.158%)	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	部長 杉木 正 科長 磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理 笠原 まゆみ

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

指示・実施単位数や加算の積極的な取得により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション指示単位数(実施単位数)の向上	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	単位数	50,000単位	43,255単位	C	53,294単位	経常収支比率
理学療法士の実施単位数向上	理学療法士(定数8名)	単位数	30,000単位	28,439単位 (6月退職、10月産休、2月採用)	B	33,391単位	経常収支比率
作業療法士の実施単位数向上	作業療法士(定数4名)	単位数	10,000単位	9,705単位 (休職1名)	B	10,224単位	経常収支比率
言語聴覚士の実施単位数向上	言語聴覚士(定数3名)	単位数	10,000単位	5,111単位 (4月退職、12月退職)	C	9,679単位	経常収支比率
実施計画書の作成及び算定	リハ技師	件数	2,500件	2,096件	C	2,557件	経常収支比率
退院時指導の算定	リハ技師	件数	1,500件	1,251件	C	1,466件	経常収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内外の研修への積極的な参加により、職員の能力向上を図ります。
- ②科内学習会を実施し、科内職員のスキルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催研修への参加	リハ技師	参加数	6回/人	4.0回/人	C	4.4回/人	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院外研修や学会への参加	リハ技師	参加数	1.5回/人	4.5回/人 (45回/10人)	S	1～2回/人	(なし)
科内学習会の開催	リハ技師	実施回数	15回	15回	A	17回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①リハビリテーションを目指す学生の育成に貢献します。
- ②市民を対象とした講義などを行います。
- ③学会等で演題発表を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学生指導	リハ技師	実習受入人数	4人	4人	A	8人	学生実習受入人数
市民アカデミーなどの講義の実施	リハ技師	実施回数	2回	5回	S	5回	講座及び講演数
学会等での発表	リハ技師	実施回数	1回	1回	A	1回	学会及び論文研究発表件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—	—	副責任者	主任医長 小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
 ②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	即日実施	A	即日実施	(なし)
MRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	前年比10%短縮	ルーチン即日実施 精査翌日実施	S	ルーチン12日 精査17日	(なし)
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	前年比5%増加	2,308件	B	2,493件	紹介率・逆紹介率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	92.00%	A	95.60%	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 土曜日のMRI委託検査の実施による地域医療への貢献。
 夜間・休日読影による質の高い救急医療への貢献

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
土曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査1.2倍	734件	C	704件	(なし)
夜間・休日読影	医師	夜間休日読影率	80%以上	100%	A	99%以上	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長	屋代 英樹
—	—	副責任者	主任医長	小林 真紀子

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	40件以上/年	46件	A	50件	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	件数	50件以上/年	37件	C	50件	入院診療単価
血管形成術	医師	件数	60件以上/年	81件	A	97件	入院診療単価
肝腫瘍ラジオ波焼灼術・マイクロ波凝固術	医師	件数	10件以上/年	7件	C	14件	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

専門医の取得・維持を図るための、学会参加を促進し、高度な診療技術の維持を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
放射線診断専門医維持のための学会参加	医師	参加数	規定の参加ポイントの取得	2回/人	A	1.25回/人	有資格者数
IVR専門医取得・維持のための学会参加	医師	参加数	規定の参加ポイントの取得	2人1回づつ	A	2回/人	有資格者数
院内にて静脈注射講習会を行い、看護師・臨床研修医師の静脈注射技術の向上を図る	医師	講師回数	各々1回以上	各々1回	A	各1回	有資格者数

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表などの学術活動の充実を図ります。
②地域医療を支える人員の増加を図るため、地域での看護教育に協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	医師	発表数	年2回（共同発表含む）	15回	S	7回	学会及び論文研究発表件数
看護大学校での放射線科講義の実施による教育への協力	医師	実施の有無	実施	1回	A	1回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—	—	副責任者		—

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高精度照射症例割合の増加及び治療(照射)時間の短縮化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
前立腺癌・IMRTの受入れルーチン化	医師・技師	前立腺癌IMRT症例数	25人	32人	A	22人	(なし)
脳定位照射の受入れルーチン化	医師・技師	脳定位症例数	8人	8人	A	5人	(なし)
IMRT治療時間の短縮 (IMRTのVMAT(強度変調回転照射)への移行)	医師・技師	VMAT症例数	5件以上	0件	C	0人	(なし)
近接放射線治療施設との相互紹介	医師	他院放射線治療科との相互紹介数	1件以上	1件	A	0人	(なし)
関連各診療科との症例検討会開催	医師	新規症例検討会開催数	3領域	2領域	C	2領域 (呼吸器、消化器)	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんや家族へのわかりやすい説明をします。
- ②治療時間の短縮化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会作製ビデオや院内作製ビデオの上映	医師・技師	上映可否	上映開始	上映中	A	未	(なし)
診断画像を用いた紙ベースでの説明継続	医師	個別化した説明書の作成・説明	9割以上	全例	A	9割	(なし)
説明書の改訂	医師	改訂数	5件	7件	A	2件	(なし)
IMRT治療時間の短縮 (IMRTのVMAT移行)	医師・技師	VMAT症例数	5件以上	0件	C	0人	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—	—	副責任者		—

Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

高精度照射症例割合を増加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他院放射線治療科との連携	医師	他院放射線治療科との相互紹介数	1件以上	1件	A	0	(なし)
治療単価の上昇	医師	治療単価	前年度比3%増	19,364円	C	20,986円	医業収支比率

Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

治療スキルの向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	医師・技師	参加回数	年1回以上	2回	S	2回	(なし)
ユーザーミーティング等への参加	医師・技師	参加回数	年1回以上	1回	A	1回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

市民の放射線治療に対する認知を進めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座の実施	医師・看護師	実施回数	1回	0回	C	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 高田 佳奈子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 生命の危機に瀕した重症患者を受け入れます。
- 救命救急センター内の職種の垣根を越えた連携を図り、よりよいチーム医療を実践します。
- 重症患者の治療にあたり、『多職種回診』を行いチーム医療を実践します。
- 地域救急隊との連携を向上させます。
- 地元医師会と連携し、救急医療と在宅医療の連携をはじめます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
近隣消防本部への挨拶回り	医師・事務(医事課)	訪問回数	2回	2回	A	1回	(なし)
救急患者受入数	医師	受入患者数	8,100人	9,120人	A	9,123人	救急患者受入数
救急搬送患者入院数	医師	受入患者数のうち入院した患者数	2,750人	2,747人	B	2,725人	救急患者受入数
年間重篤患者数 (厚生労働省「救命救急センターの充実段階評価」)	医師	重篤患者数	1,100人	1,107件	A	1,082人	(なし)
特定集中治療室用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の入院割合	医師	重篤患者数	15%	21.8%	A	13.7% (H30.5～12月)	重症度、医療・看護必要度(特定集中治療室)
救命救急センター会の開催	医師・看護師	救命救急センター会の回数	月1回(8月を除く)	原則月1回(8月・コロナ対応を除く)	A	月1回	(なし)
多職種カンファレンスを行う	医師・看護師・薬剤師・リハビリ技師・MSW	カンファレンスの回数	週1回	週1回	A	週1回	(なし)
救急事例検討会の開催	医師・事務(医事課)	開催回数	2回	1回	C	2回	(なし)
救急医療と在宅医療の連携会議	医師会・医師・事務	会議参加数	2回	1回	C	未実施	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 救命救急センターとして、救急医療に関する情報を発信します。
- 接遇を向上させると共に、受診時間の短縮に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
救急隊からの受入れを促進する	医師	応需率	98%	98.6%	A	98.7%	(なし)
様々なツール(病院本、Smile!・ホームページ)を通じた広報活動	医師・看護師	情報発信したツール数	1件	看護師 2件	S	1件	情報発信件数
接遇を向上させる	医師・看護師	クレーム数	10件未満	0件	S	5件(看)	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 高田 佳奈子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急搬送件数を増加させます。
- ②入院患者数(軽症経過観察・重症集中治療)を増加させ、入院稼働額の増加をめざします。
- ③救急病棟の効率的運用方法を見出します。
- ④救急外来スタッフのコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	受入患者数	8,100人	9,120人	A	9,123人	(なし)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	平均外来患者数	11人	15.2人	A	16.1人	1日当たり平均外来患者数
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	外来診療単価	30,850円	26,616円	C	26,672円	外来診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院診療単価	70,000円	救急科 111,715円 救急外科 113,630円	A	救急科 125,449円 救急外科 115,697円	入院診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院患者数	100人/年	救急科 112人 救急外科 73人	A	救急科 149人 救急外科 122人	(なし)
救急病棟の入院稼働率(利用率)上昇	医師・看護師・事務	病床利用率	70%	77.2%	A	86.10%	病床利用率
救急病棟の入院稼働額上昇	医師・看護師	入院診療単価	148,870円	134,996円	B	139,199円	入院診療単価

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院内研修会への参加により、他分野の見識を深めます。
- ②専門職としての自己研鑽に努め、教育や研究活動に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり6回	1人あたり4.5回	C	1人あたり4.9回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
看護研究の立案、実践	看護師・医師	行う看護研究の数	2件	1件	C	共同研究1件 立案1件	(なし)
働きやすい職場環境の調整	看護師	離職率	5%未満	外来7% 病棟5%	C	外来4% 病棟11%	(なし)
院外研修会への参加	医師・看護師	参加数	1人あたり2回	医師2回程度 外来2.15回 病棟0.65回	C	医師3回程度 外来1.8回 病棟1.3回	(なし)
JTASを受講する	看護師(ER)	参加数	3人	3人	A	5人	有資格者数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長 看護師長	高橋 しのぶ 高田 佳奈子

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急ワークステーション(救急WS)を通じて、重症傷病者に対する病院前からの医療に参画します。
- ②災害に即応できる体制、能力を構築します。
- ③救急救命士の実習を受入れ、育成に努めます。
- ④学生教育を受入れ、学生に救急医学に関心を持ってもらいます。
- ⑤認定看護師・看護師の能力を活かした健康教育を行います。
- ⑥論文、学会発表を通じ、academic emergency physician, academic acute care surgeon, academic ER nurse としての地位を確立します。
- ⑦医療系学生もしくは中高生へ向けた「救命救急センター」紹介・体験企画を行い、興味・関心を持ってもらいます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
救急WSでの出動	医師・看護師	救急WS出動件数	150件	208件	A	150件	社会貢献活動の実施数
災害訓練への参加	医師・看護師・薬剤師・技師	訓練参加数	10件	3件(災害訓練), 3件(災害研修), 4件(WS訓練), 3件(実出動)	A	10件	社会貢献活動の実施数
救急救命士の病院実習を受け入れる	医師・事務	受入れ救急救命士数	55人	72人	A	84人	社会貢献活動の実施数
医学部学生の臨床実習を受け入れる	医師	受入れ学生数	1人	0人	C	1人	学生実習受入人数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師	論文数	1(共著者含む)	5編(共著者含む)	S	14編(共著者含む)	学会及び論文研究発表件数
論文発表、学会発表を通じたacademismの獲得	医師・看護師	学会研究発表数	8(共同演者含む)	38回(共同演者含む)	S	50回(共同演者含む)	学会及び論文研究発表件数
認定看護師・看護師による健康講座の開催	看護師	講演数	1回	4回	S	4回	講座及び講演数
医療系学生(中高生)向け見学企画『ひらつかER 救命救急センター 24時』の開催	医師・看護師・事務	開催数	1回	0回	C	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	手術室	副責任者	医長	唐木田 曜

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
麻酔科管理手術件数の増加	医師	麻酔科管理手術件数	3,000件	3,189件	A	3,048件	手術件数
全身麻酔件数の増加	医師	全身麻酔件数	2,850件	2,911件	A	2,764件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの痛みが少ない麻酔を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
神経ブロックの実施	医師	神経ブロック実施件数	60例	191例	S	50例 (～H31.3.22)	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員給与費対医業収益比率の改善に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年比5%減	43時間0分	A	47時間30分	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	宮崎 宏道
病棟名	手術室	副責任者	医長	唐木田 曜

IV 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の能力向上と病院経営の理解に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会、院外研修会への参加	医師	参加回数	年3回	2回	C	年7回	(なし)

V 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

論文、発表などの学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
学会研究発表	医師	発表数	年1回	1回	A	年0回	学会及び論文研究発表件数
救急救命士挿管実習件数	医師	挿管実習件数	9人	11人	A	11人	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	保健指導室	総括責任者	室長 松原 隆
—	—	副責任者	主任医長 野口 麻美子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で効率的な健康診断、予防接種体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断時及び予防接種時の手順の遵守	医師、看護師、事務	インシデント発生件数	なし	なし	A	なし	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

健康診断及び予防接種者が快適な環境で安心して受診できる体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
一般向けの健康診断時及び予防接種時に丁寧な説明をする。	医師、看護師、事務	苦情件数	なし	1件	C	なし	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コスト管理を徹底し、経費削減に努めます。
- ②職員の健康管理を徹底し、心身が良好な状態での業務と人材の有効活用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
薬品等の適切な管理(予防接種)	医師、看護師	薬品等の節約	破棄薬剤なし	インフルエンザワクチン2V破棄	C	インフルエンザワクチン1/2V破棄	薬品費対医業収益比率
病院職員の定期健康診断結果を踏まえたアドバイスの実施	医師、看護師	必要な職員へのアドバイス実施率	100%	70%	C	100%	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	保健指導室	総括責任者	室長 松原 隆
—	—	副責任者	主任医長 野口 麻美子

IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

研修等に積極的に参加し、医療者のレベルアップを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
他施設の学会、研修の参加	医師	参加回数	学会2回 研修会4回	学会2回 研修会1回	C	学会1回 研修会2回	(なし)

V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

地域活動を積極的に行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
健康診断あるいは予防接種についての院内セミナー等の開催	医師	開催回数	年1回	0回	C	0回	講座及び講演数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長 本谷菜穂子
—	—	副責任者	副看護部長 稲村ほづみ・山中享子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 高度医療に対応できる質の高い看護の提供に努めます。
2. 他職種連携・協働によるチーム医療を実践します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
特定看護師(仮称)による活動体制の構築	看護部長・副看護部長・外来師長・皮膚排泄ケア認定看護師・外科医師・皮膚科医師・医事課	特定行為の実施	20例程度/月	活動5月～3月計61件、月平均5.5件	C	—	(なし)
入退院支援部門の再構築に向けた入院前面談の導入	看護部長・副看護部長・外来師長・外来看護師・退院支援室・栄養科・薬剤科・医事課・経営企画課	入院前面談	15件/月	1件	C	—	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 患者に選ばれる病院づくりに努めます。
2. 産後の支援体制を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
専門職として品格ある接遇	全看護職員	接遇チェックリスト項目	身だしなみ・言葉遣い各々80%以上(前期・後期)	入院・外来全体平均81.35%(入院87.1%、外来75.6%)	A	—	(なし)
「産後うつ」防止に向けた2週間検診体制の構築(初産対象)	産科病棟助産師・精神科医師・産科医師・リエゾン看護師・MSW	実施件数	200件/年	6月～3月143件(10ヶ月)受診率93%	C	—	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長 本谷菜穂子
—	—	副責任者	副看護部長 稲村ほづみ・山中享子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 人材確保に努めます。
2. 看護職員の経営参画を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
人材確保・定着	看護部長・副看護部長・看護師長・事務職(病院総務課)	常勤看護師採用数	50人/年	48人	B	47人	看護師数
効率的な病床管理	看護部長・副看護部長・看護師長・医師・事務職(医事課・経営企画課)	運用病床に対する病床利用率	92%	87.6%	B	92.2%	病床利用率
重症度、医療・看護必要度の適切な評価と基準維持	全看護師・医師	一般病棟における基準クリア率	新基準30%以上	35.10%	A	33.6%	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い看護サービス提供のため、人材育成に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
看護管理者の育成	看護部長・副看護部長・師長	管理職学習会の実施	2回/月	2回/月	A	2回/月	(なし)
ジェネラリスト育成	看護部長・副看護部長・師長・看護師	JNAクリニカルターの作成と試行	自己評価・他者評価の実施(1回/年)	自己・他者評価実施1回	A	3病棟試行	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

1. 地域住民の健康促進に向けた活動を行います。
2. 業務改善や研究活動等の成果を学会等で発表し、学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
地域住民に対する健康教育等の実施	看護部長・副看護部長・師長・看護師	講師、アドバイザー派遣数	8件/年以上	2件	C	7件	講座及び講演数
専門職としての研究・事例等発表	全看護職員	学会発表・投稿	7件/年以上	7件	A	10件	学会及び論文研究発表件数
看護フェスティバルの実施	看護部長・副看護部長・師長・看護師・コメディカル	参加人数	50名以上	218名 (7ブース計)	S	—	情報発信件数

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	全科	総括責任者	室長	中川 基人
病棟名	ICU・CCU	副責任者	看護師長	面田 利文

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供するICU・CCUを発展させます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
各科が利用しやすい運用	医師、看護師	1日当たりの平均入院患者数	平日8.0人	6.78人	C	7.0人/月	(なし)
ICU・CCU管理が必要な予定入室症例が利用できる運用	医師、看護師	応需率	100%	100%	A	100%	(なし)
集中治療室委員会の開催	医師、看護師	開催回数	1回以上/年	0回	C	1回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU・CCUとして患者・家族から信頼され、安心できる環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
患者の要望を十分に聴取する。	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	A	0件	(なし)
面会時、ICU・CCU見学時、積極的に意思疎通を図る。	医師、看護師	おほめの言葉数	10件	12件	A	6件	(なし)

職員行動計画書

【令和元年度】

科名	全科	総括責任者	室長	中川 基人
病棟名	ICU・CCU	副責任者	看護師長	面田 利文

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益へ貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
病床利用率向上による入院患者数の増加	医師、看護師	1日当たりの平均入院患者数	8.0人	6.78人	C	7.0人/月	1日当たり平均入院患者数
重症度、医療・看護必要度の基準をクリアする	医師、看護師	A項目3点かつB項目4点をクリアする患者割合	80%以上	95.6%	A	96%	(なし)
21日以上のICU・CCU在室を減らす	医師、看護師	21日間以上在室した患者数	6人以下	7名	C	12人	(なし)

Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のスキルアップを目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
院内・院外研修会への積極的参加	看護師	参加数	8回/人	10回/人	A	7.0回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
各科勉強会の開催	看護師	勉強会開催数	9回	11回	A	8回	(なし)

Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 研究発表など学術活動の充実を図ります。
- ② 急性期・周術期医療に関心のある学生の教育に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R1目標値	R1実績	評価	H30実績	KPI (重要業績評価指標)
研究・症例発表	看護師	発表数	2回	0回	C	1回	学会及び論文研究発表件数
急性期・周術期医療に関心のある看護学生の受け入れ	看護師	受け入れ数	20名	41名にオリエンテーションしたが入室は12名	C	22名	学生実習受入人数